

広報 しばた

2
2012
FEBRUARY
No. 604
since 1961

寒さを忘れて 「かるた」に夢中

船迫小学校校庭で1月15日、今年で30回目を迎える恒例の地区対抗かるたとり大会(船迫地区子ども会育成会主催)が開催されました。

競技に使用する「かるた」は、読み札・絵札合わせて50枚を子どもたちが手作りしたもので、今年は、震災に関連した作品や季節を反映した作品となりました。絵札を校庭いっばいに広げ、競技が始まると子どもたちは、読み札が読まれ太鼓の合図とともに絵札を目掛けて一斉に走り出します。校庭には、応援の声や子どもたちの元気な声が終始響いていました。

いよいよ
槻木中学校校舎の
新築工事始まる



写真㊤ 47年間
お世話になった
学舎／㊦ 1月下旬
ほぼ解体が終
わり瓦礫の運搬
を待つ





①校舎の周りには仮囲いが立てられる / ② 10月仮設の校舎が完成 / ③ 11月下旬天井など内装から解体が始まる / ④ 12月上旬本格的に校舎本体の解体が進む / ⑤ 黒板に書かれたメッセージ / ⑥ 校舎のてっぺんから47年間生徒を見続けて来た校章

01
経緯

槻木中学校の校舎は、昭和38年9月に焼失した校舎を再建するために、昭和39年、鉄筋3階建ての「マンモス校舎」として建設されました。それから、すでに47年もの月日が流れました。

平成9年に耐震診断を行った結果、安全とされる基準値（IS値0・7以上）を下回りました。その後、耐力度調査を実施したところ、所要の耐力度に達しなかったため、国の補助事業の対象となったことから、今まで慣れ親しんできた校舎を解体して、新たに建て直すことになったのです。

02
着工

槻木中学校の工事は、昨年10月から始まりました。

初めに、授業を継続するため、校舎の前には、仮設校舎が建てられました。

11月からは、校舎の解体工事が着々と進められ、現在は、その解体工事もほぼ完了となりました。

今からは、新しい校舎の新築工事に着工していきます。

新しい校舎は、 平成25年2月完成予定。



新しい校舎の完成イメージ

Topics 学舎に最後の別れ

昨年11月20日、槻木中学校で学んだ卒業生や在校生など、幅広い年代の方々約30人が集まり、「ピカピカ大作戦」が行われました。

これは、校舎が解体される前に学舎へ感謝の気持ちを込めて大掃除をしようと、PTA役員の方々が中心となり行われたものです。

参加者は、旧校舎との別れを惜しむように床や窓の掃除をしました。



① 校舎屋上で最後の記念撮影／②・③ 黒板、窓ともに隅々までピカピカに磨きました

03 新校舎

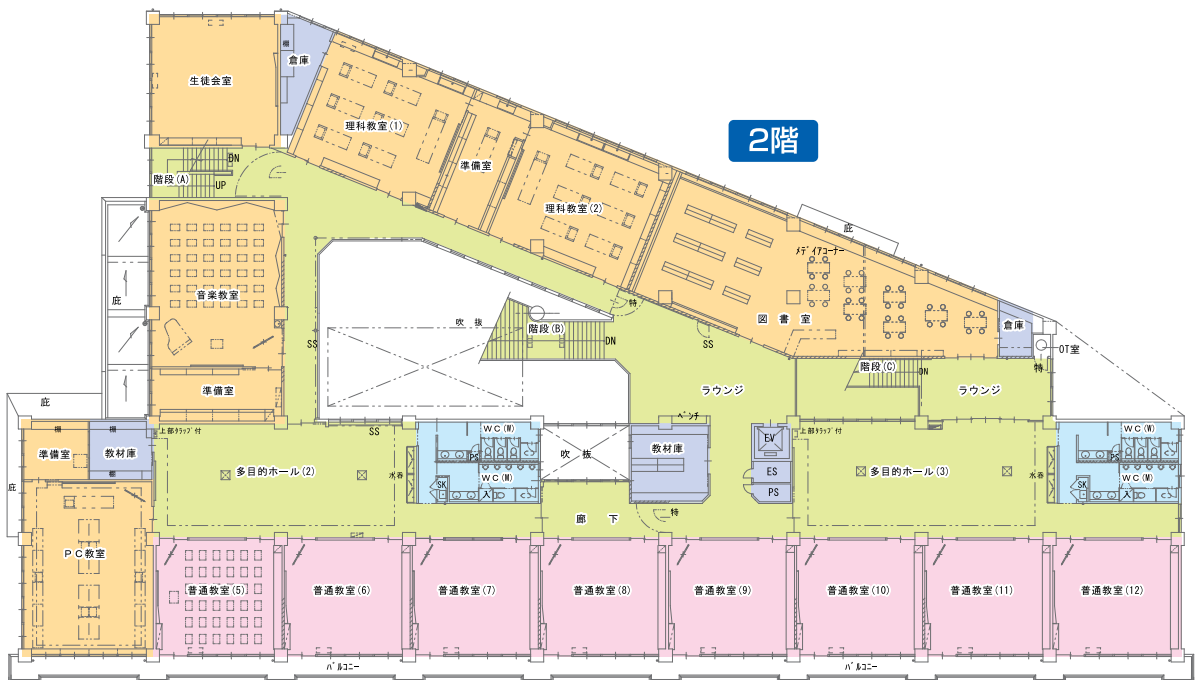
新しい校舎は、鉄筋コンクリート造の2階建て。延べ床面積は4675㎡で、

教室の広さは8・8m×8m、廊下は狭い所でも1・8m、天井の高さも2・7mと、元の校舎より広々とした印象になります。

普通教室は、南側に配置されます。廊下を広げて、

特集

いよいよ
梶木中学校校舎の新築工事が始まる



新校舎の 平面図

(校庭側)

各学年で集会などに利用する多目的スペースを設けています。また、このスペースは、床暖房を備えるため、ほんのり暖かい床となります。

トイレは、洋式化されるため、きれいで利用しやすくなります。

町内の教育施設では初めて屋上に、太陽光パネルを設置します。生徒たちの環境教育に役立つことが期待されます。

特別教室は、普通教室と離すことで、お互いの授業に支障を来たさないよう配慮し、北側を中心に配置しました。

授業や自主学習の幅を広げるための図書室も広めに確保します。

この工事では、建物の建築と併せて、校舎周辺の外構工事や駐輪場の整備も行われます。

図 教育総務課

☎55-2134



高齢者が安心してくらせるまちづくり

～高齢者虐待を地域で予防しましょう～



殴る蹴るなどの暴力
身体的虐待



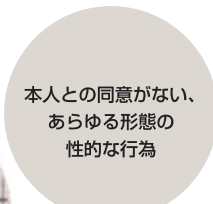
高齢者を叱りつける・無視する
心理的虐待



年金などを勝手に使ってしまう
経済的虐待



劣悪な環境で放置
放棄・放任



本人との同意がない、あらゆる形態の性的な行為
性的虐待

高齢者虐待は、身近な問題です。特別な家庭にのみ発生するのではなく、さまざまな要因が重なったときに、どの家庭でも起こる可能性があります。

**高齢者虐待とは
どんなことを
いっているのでしょうか？**

虐待は、たたくなど目に見えるものだけではなくありません。高齢者に対して、心や体に深い傷を負わせ、人権の侵害や尊厳を奪うことをいいます。主に介護者など身近にいる人が起こしやすい傾向にあり、介護者や家族が無意識のうちにやっている場合もあります。

高齢者虐待防止法では、高齢者虐待は「身体的虐待」「心理的虐待」「介護・世話の放棄・放任」「経済的虐待」「性的虐待」の5つに分けられます。最近では、自ら医療や食事を拒み、周囲との関わりを拒絶するといった場合（セルフネグレクト）も問題となっています。

**どんなことから
起こるのでしょうか？**

背景には、次のようなことが考えられます。

介護疲れ

重い介護負担や先の見えない介護、仕事や家事を両立することのストレスなど

高齢者と介護者の人間関係

両者の性格や、もともとの人間関係の悪さなど

病気や認知症への不十分な理解

介護者が認知症を理解していない、認知症を受入れられないことから高齢者の行動や混乱に対して厳しく接してしまうなど

経済的な問題

経済状態が苦しい、または高齢者の年金に依存した生活状態など

介護者の心身状態

介護者が体調不良である、アルコールへの依存など精神的に不安定な状態など

**高齢者世帯でも
起こりうることです**

高齢者の夫婦2人暮らしで、片方が認知症になり妻（夫）が一人で介護を抱え込んでしまったら……。柴田町の高齢者（65歳以上）は、8654人で高齢化率は22・5%（平成23年12月）です。そのうち、1人暮らし世帯が801世帯。高齢者2人暮らし世帯は1049世帯（平成23年4月）あります。家庭内で起こる高齢者虐待の8割は、高齢者に認知症の症状があると報告されています。

認知症は、65歳以上の約6・7%、85歳以上では4人に1人と、誰もがなる可能性のある身近な病気です。

Q 高齢者虐待を発見したらどうするの？

A 生命または身体に重大な危険がある場合は、市町村に通報する義務があります。また、緊急性の少ない場合でも、速やかに通報するよう努めなければなりません。

Q 通報を迷ってしまいますが？（個人情報保護や守秘義務）

A 高齢者虐待の疑いがある場合、個人情報保護や守秘義務についての法律は適用されません。

Q 高齢者虐待を通報したことについて、後で責められないでしょうか？

A 責められません。通報を受けた者は、通報者およびその関係者の情報を漏らしてはいけないと規定されています。

Q 高齢者本人が、虐待を否定するのでどうしたらいいのでしょうか？（虐待ではないかと思われるのですが）

A 虐待者である家族をかばっている場合や虐待と認識していない場合もあります。虐待の疑いがある場合はご相談ください。

高齢者虐待の早期発見のために

高齢者や家族のちょっとした変化やサインに気づくことが、早期発見、虐待の防止につながります。

本人からみられるサイン

- 体にキズやあざなどが頻繁にみられる
- 急におびえたり、恐ろしがったりする
- 自由に使えるお金がないと訴える
- 衣類などが汚れたままている場合が多くなる など

家族・介護者からみられるサイン

- 長年にわたる介護に疲れが感じられる
- 追い詰められている様子がみられる
- 医師や介護サービスの担当者に会いたがらない など

地域からのサイン

- 近所付き合いをしたがらない、訪問しても嫌がる、拒否する
- 最近見かけない
- 天気が悪くても、外にいる姿がしばしば見られる
- 怒鳴り声、悲鳴、物が投げられる音がある など

認知症の理解

介護疲れの積み重ね、特に認知症に対する知識・接し方の理解不足などが虐待発生の大きな要因になっています。認知症の早期発見と、介護サービスの利用などにより介護負担を軽減することが大切です。

高齢者虐待は、当事者に自覚が無い場合や高齢者が家族へ遠慮したりすることなどから、周囲には見えにくいものです。虐待かな？と感じたらまずご相談ください。通報者などを特定する情報を漏らすことはありません。



ご相談・お問い合わせはこちら

柴田町地域包括支援センター ☎86-3340

槻木地域包括支援センター ☎56-5764

柴田町福祉課 ☎55-2159



新たに 504人が 大人の仲間入り

大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます日として、昭和23年に制定された「成人の日」。

1月8日、船岡中学校体育館で「柴田町成人式」が行われ、出席した新成人の新たな門出を祝いました。

今年、504人（男277人、女227人）が大人の仲間入りをし、10時から始まった式典には、振袖や羽織袴、スーツに身を包んだ新成人310人が出席。久しぶりに旧友との再会を果たし、喜び合う光景が会場のおちらこちから見受けられました。



そこには、
変わらない友達
変わらない笑顔がある。

古里で「大人」としての

2012 成人式

カメラルポ

思いを新たに誓う





3

1 出席者全員で国歌斉唱／2 奥州一番太鼓「鼓音（つづみね）」で新成人者を祝う／3 中学時代の恩師から届いたビデオレター／4 成人式の企画・運営に携わった実行委員会のメンバー／5 最後に成人を記念して万歳三唱



1



2



5



4

私たちが成人を迎えたこの年に起きた大震災。決して忘れてはならない出来事です。私達にできる事は何か。長い目で見る「復興」には、小さな積み重ねが必要だと思えます。

決して悲しみは消えないけれど、被災地の方々は笑顔で前を向いて、復興に向かって歩き出しています。

成人を迎えた私達も、それぞれの夢に向かって歩き始めなければなりません。私の夢は建築士になる事です。誰かを笑顔にしたい思いは、これから先も変わりません。自分の夢が叶う事を信じて突き進んでいきたいと思えます。



新成人代表と
中澤 幸人さん

二十歳のメッセージ

(一部抜粋)



新成人代表
安藤 春香さん

私たちは、成人を迎えたという大きな喜びを感じるとともに、自分の判断や行動に責任をもたなければならぬことを痛感しています。二十歳を迎え、すでに職業に従事している人や、学業に励んでいる人など立場は様々ですが、一人ひとりが自分の行動に責任を持ち、社会の一員として常に向上心を持って前進する覚悟しております。この自然豊かな柴田町に生まれ、小・中・高とともに競い合った仲間と、今こうして新生「柴田町」の新成人として誓いを共にし、このふるさとを自分たちの誇りとして心に刻んでいきたいと思えます。





柴田町長 滝口 茂

2月は、新年度予算の編成が本格化する時期です。編成に当たっては、当面の課題である道路や側溝、下水道の整備、そして、

水害対策を急ぐとともに、将来への先行投資となる、例えば、スポーツ・文化ゾーン整備可能性調査や子ども総合センター基本構想策定事業、さくら連絡橋実施設計を予算化することになっています。

なぜなら、柴田町が将来にわたって持続的に発展していくためには、時代の先を読み、長期的な展望に立った政策が必要だからです。将来のまちの姿を構想することは政治家の大きな使命でもあります。

今、国会で議論されている社会保障と税の一体改革も、今後の社会のあり方を左右する大事な案件です。

日本の人口が減り、高齢化社会が進展すると、税収減は避けられません。一方で、年金や医療、介護を受ける人が増える訳ですから、税とサービスの乖離は大きくなるばかりです。国の平成24年度の予算総額は約90兆円で、税収と税外収入を合わせて約46兆円。借金は約44兆円となり、実に49%は借金で賄うことになってい

予算編成にあたって

ます。お父さんの給料が46万円なのに、44万円の借金をして、90万円の生活をしていたら、家計が破綻するのは目に見えています。しかし、こうした自明の理もなぜか国家予算となると、感覚がマヒするの、うやむやになってしまいます。

財政が破綻し、322億円もの借金を抱えた北海道夕張市を立て直すために奮闘している30歳の鈴木市長は、いみじくもこう話していました。「財源無しで、新たな政策を始めるのは難しい」と。財政破綻の付けは、市民への痛みとなって跳ね返ってきます。

同様に、平成24年度末の国と地方の借金残高が937兆円に膨らむ国家財政も、まさに夕張市の二の舞寸前です。もうこれ以上、子どもや孫の世代に借金を付け回してサービスだけを享受することは許され

ません。将来に向かって年金や医療、介護など、老後を心配しないで済む「いい国」「いい社会」を創るためには、やはり、新たな財源が必要だと思います。安定した財源が確保できてこそ、皆さんからの要望への対応や、福祉サービスが充実した予算編成が可能になります。近視眼的に陥ることなく、未来にも責任を果たしてまいります。

みやぎ県南中核病院 からののお知らせ

問 みやぎ県南中核病院 ☎51-5500 <http://www.southmiyagi-mc.jp/>

工事により時間外駐車場の一部が使用できなくなります



みやぎ県南中核病院の敷地西側部分において、救命救急センター・腫瘍センターの増築工事が始まります。(工事は平成25年春までの予定)

工事期間中は、駐車場の一部が使用できなくなるなど、病院を利用される皆さまには、大変ご迷惑をお掛けすることになります。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

告 白



柴田町図書館

からのお知らせ

みんなの図書館

2月の特集

元気になれる恋愛小説!

2月の特集は、バレンタインにちなんで「恋愛」をテーマにした本を集めます。大切な人と楽しみたいと思う、読んで幸せを感じられる1冊を探してみたいか。また、手作りのプレゼントの参考になる本も一緒に展示します。

2月のお話し会
毎月第1・3土曜日開催

日時 / 2月4日(土)、18日(土) 11:00～12:00

※事前の申し込みは必要ありません。

場所 / 柴田町図書館 (ふるさと文化伝承館1階奥の「和室」)

協力 / 絵本読み聞かせの会「おむすびころりん」

◆開館時間 / 平日 10:00～19:00 土・日曜日、祝日 10:00～17:00

◆2月の休館日 / 2月6日(月)、13日(月)、20日(月)、27日(月)、29日(水)

☎ 柴田町図書館 (しばたの郷土館・ふるさと文化伝承館内) ☎ 86-3820 FAX86-3821 Eメール :library@town.shibata.miyagi.jp



まちづくりに参加する制度 パート2 (地域計画)

少子高齢化や人口減少社会を迎え、多様化する住民ニーズや地域の実情に合ったきめ細かな対応をしながら、安全・安心の中に元気あふれるまちを作っていくには、限られた予算、人材での画一的な行政サービスだけでは限界にきています。

そこで、地域住民と町が知恵を出し合い、それぞれの役割や責任を再確認し、自分達の地域の将来をどうしたいのか考えてもらい、課題の解決方法や将来の目標を実現する方法などをまとめたものが地域計画です。この計画作りによって情報を共有していくことが、地域づくりを進める第一歩になります。

地域計画に基づいた活動によって、住民自身の手で地域づくりを進め「住んで良かった、これからも住みたい」と実感できる地域の実現を目指していくことになります。これが「柴田町住民自治によるまちづくり基本条例」の目指す住民主役のまちづくりです。

現在、この地域計画は各行政区を基本単位として、策定が開始されています。全行政区での地域計画の策定を目指して、町も一緒に取り組んでまいります。

☎ まちづくり政策課 ☎ 54-2111

広 告

広 告

まちかど NEWS



厳しい寒さの中、白鳥神社から船岡小学校まで分列行進

地域の安全と安心を祈願 NEWS

1月9日に新春恒例となった合同出初式が、消防団、交通指導隊、防犯実動隊、婦人防火クラブ連合会から約350人が参加して船岡小学校校庭で行われました。式典では、滝口町長が「災害の発生に備え、各関係機関が協力連携して、地域の安全力、防災力、減災力の向上に努めてもらいたい」と訓示。その後、服装・消防車両の点検、初期消火訓練、一斉放水などが行われました。



ラッパ隊の合図で一斉放水

成長を刻む世界に一つの椅子 NEWS

北海道で赤ちゃんに木製の椅子を贈っている「君の椅子」プロジェクト代表磯田憲一氏と北海道愛別町長矢部福二郎氏が、12月21日に役場を訪れ、町内で3月11日に生まれた笠松佑馬さん（船岡）に特製の椅子を贈りました。この椅子は、多くの方が亡くなった日に、未来への希望を携え生まれてきた岩手・宮城・福島の赤ちゃんに贈っているもので、椅子の裏には、名前と「たくましく未来へ」の文字が刻まれています。



平岡副町長（左）へプランの素案を手渡す作山委員長（右）

第3次しばた男女共同参画プラン完成 NEWS

しばた男女共同参画プラン策定委員会から11月29日に「第3次しばた男女共同参画プラン（素案）」が町に提出され、このプランが完成しました。特徴としては、東日本大震災の経験から「防災復興分野での男女共同参画」を5つの基本目標の一つに掲げるほか、具体的な施策の内容や目標値を盛り込んだ実効性のある計画となっています。なお、このプランは町ホームページでご覧になれます。



成長と共にかげがえのない思い出を刻んでください

広 告

広 告

NEWS 里山を町民の憩いの場へ

西船迫一丁目6号公園周辺の里山整備を11月13日と23日の2日間、地域住民やみどりの少年団など、延べ185人が参加し、協働でアジサイなど230本、苗木144本を植栽しました。また、植栽前に伐採した木は、機械でウッドチップにして敷きつめました。今後、この里山を大切に、町民の憩いの場としてご利用ください。なお、この整備は、みやぎ環境交付金を活用して行われたものです。

荒れた里山を回復するため、住民が力を合わせ作業を実施



学習に取り組む生徒たち
(延べ37人が参加)

NEWS 学習会で受験力アップ!

1月4日から3日間、船岡公民館で町内の中学3年生を対象に、志望校合格に向けた冬季受験力アップ学習会(町教育委員会主催)が行われました。この学習会は、自主的に学習する場を提供して高校受験へ向けた意識啓発を行うことを目的に、平成22年から毎年この時期に行われているものです。学習ボランティアの方々が、数学と英語の科目を生徒のレベルに合わせて丁寧に指導していました。

NEWS 日常体験を基に作文で表彰

第61回社会を明るくする運動作文コンテストで、槻木中学校2年生村上彩佳さんの作品「ホントの気持ち」が、中学生の部で優秀賞に選ばれ、1月18日に町役場で賞状の伝達式が行われました。夏休みを返上して作文に取り組んだ彩佳さん。「初めて大きな賞をもらい大変うれい」と話してくれました。このコンテストは、社会を明るくする運動の理解を深めてもらおうと行われているものです。

賞状とメダルを手にする彩佳さん



今年の漢字に「透(とある)」を掲げ未来をみんなで見つめたい

NEWS 穏やかな新年を迎え町の発展を思う

新春交歓会が1月5日に町内のホテルで開かれ、町内の企業や団体、行政区から約450人が参加しました。年頭のあいさつで滝口町長は「今年には明るい年にしたい。復旧復興に全力を挙げ、新生柴田の礎を創り、また、観光のまちづくりと農商工連携で勢いを加速させるため、皆さんと頑張っていきましょう」と話しました。乾杯の後、円卓を囲み新春のあいさつをし、町政の発展を祈念しました。

広告

広告

地デジの準備お済みですか？

～宮城県のアナログ放送は、3月31日に終了します～



昨年、被災地 3 県を除く地域では、地上デジタル放送へ完全移行しました。

宮城県では、3 月 31 日にアナログテレビ放送を終了し、地上デジタル放送へ完全移行します。

【アナログテレビ放送終了までの画面遷移イメージ】（実際の表示内容等は、今後決定される予定です。）



これに伴い、従来のアナログテレビでは、このままテレビ放送を見ることができません。デジタルテレビへの買い換えやデジタルチューナーを買い足すなど、準備が必要となります。残り 2 カ月、早めの準備をお願いします。

地デジの疑問・相談はこちらまで

デジサポ宮城 ☎022-745-1500

平日：午前9時～午後8時
土・日曜日、祝日：午前9時～午後6時

こうほう 文芸

短歌

火の国の言の葉深く美しく
心を添へて子等に伝へん
校庭にトランペット吹く乙女らの
影より木枯し湧きくるような
忙しき日々の続きで久びさに
遠くに見える街の燈やさし
夕やけが木梢透かして広がりて
もゆる大空雁が鳴きゆく

東船迫 児玉 恭子
船岡 沢田 順子
船岡 柄目けい子
葦野 葛

川柳

節電にせいたく病を押え込む
着ぶくれて通勤通学冬の陣
日本中絆きずなで年明けける
しきたりを守って餅の三ケ日
しきたりよ地球を崩すことなかれ
百歳の笑顔輝く祝い膳
曾孫の仕草に絆見直され
華燭の典誓ったことはもう忘れ
刻み込む春の七草美味ですな
小梅鉢届きて嬉し寒便り
古い帯バックに変身蘇る
幾山河巡りて古希に辿り着き

西船迫 渡辺 晴奈
船岡 阿部美代子
船岡 安藤 節子
船岡 伊藤タイ子
船岡 早坂 洋子
船岡 鳥貫とし子
船岡 長尾 純子
船岡 幕田 昇
船岡 阿部トクエ
西船迫 大沼 一路
四日市場 郷土 山櫻
四日市場 曳地 真翔

俳句

二月尽みんな逝つてしまふのね
新しきブツクポストや二月尽
分かり合ふ夫はもう亡し龍の玉
背の丈の梅一輪の匂ひけり
葉牡丹や終着駅は渦の中
剪定の音に残照とどまれり
二月尽ちの鳥打帽子かな
廻廊のきしみかすかや二月尽
蔵王嶺のもんべ姿や列車過ぐ
川幅に溢るるひかり雪解かな
清らかな古稀でありしよ年惜しむ
紅をさす任草乙女や小正月
節分だ孫に追われる鬼になる
初空の蔵王の嶺も真青かな

本船迫 森田 眞六
大衆かずえ
下名生 笠松フミコ
大槻 信吉
槻木 永井 堯
松崎 利保
相馬カツオ
鈴木 幸子
鈴木 清子
鈴木 三山
鎌形 清司
江戸 裕子
上遠野三恵
小野 憲彦

広 告

広 告



夢空間 2012



女王の番犬 (ペンネーム)



花ちゃん (ペンネーム)



お子さん(4歳まで)の写真をお待ちしています。写真の裏にお子さんの名前を必ず書いてください。投稿者の住所、氏名、電話番号、子どもの名前・生年月日を明記し、「ひとこと」を添えて応募してください。

こども美術館



「がんばった田植え」

柴田小学校5年
我妻凌太さん



「きょうりゅうの国に
来ちゃったよ」

柴田小学校2年
鈴木るなさん

お詫びと訂正 広報しばた1月号に掲載したお名前に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

正) 槻木小学校5年 酒本 夕佳さん
誤) 槻木小学校5年 坂本 夕桂さん

ふれあいマイタウンは、町民の皆さんからの応募・紹介でつくるコーナーです。俳句・川柳・短歌に興味がある(こうほう文芸)、とてもすてきな方なので紹介したい(人間もよう)、自己表現コーナー(夢空間2012)、子どもの成長の写真やかわいい孫の写真を載せたいという方(町内にお住まいの4歳以下のお子さん)、はがき、手紙などで2月14日(火)までご応募ください。 ■連絡先/まちづくり政策課 ☎54-2111

広 告

広 告

平成24年4月からの「広報しばた」に掲載する広告を募集します。
 お店や企業のPRなど暮らしに役立つ広告をお待ちしています。

- 発行日・発行部数：毎月1日（年12回）発行 14,850部
- 配布先：町内全世帯および各公共施設、町内外の関係団体
- 広告の規格：1枠 縦45mm、横86mm
- 広告掲載料：10,000円／1回（1枠）
- 募集枠数：広報紙1回につき8枠（広報紙1回につき1者あたり2枠まで）
- 掲載基準：「町民に不利益を与えないもの、中立性」などを考慮します。詳しくは、広報しばた広告掲載取扱要綱をご覧ください。
- 申込方法：所定の申込書に原稿および納税状況確認同意書（または納税証明書）を添えてお申し込みください。申込書などは町ホームページよりダウンロードできます。
- 申込期限：2月17日(金)

広報 しばた に掲載する 有料広告募集



申問 まちづくり政策課 TEL 54-2111 FAX 55-4172 ホームページ <http://www.town.shibata.miyagi.jp/>

人口と世帯数
 (平成24年1月1日現在)



38,530 人
 (前月比3人減)



19,141 人
 (前月比7人減)



19,389 人
 (前月比4人増)



14,689 世帯
 (前月比0世帯)

■柴田町のホームページ <http://www.town.shibata.miyagi.jp/>